

「次期多摩市交通マスタープラン（素案）」のパブリックコメントに対する市の考え方

- 実施期間：令和7年12月22日（月）～令和8年1月21日（水）
- 提出者：3人
- 提出件数：3件（内訳：インターネット手続き3件）
- 意見数：8件

No.	事項	ご意見	市の考え方
1	課題 4-1 （バスターミナルの快適性向上）について	「行き先とバス乗り場の統一」については数十年前の子どもの頃から私も感じてきたことで、たとえば去年廃止になった桜84系統（相模原駅行き）は、もし由木折返場方面行きと同じバス停で発車時刻も調整されていたなら、乗客も存在を認識して乗ってくれて、廃止になったりはしなかったと考えています。京王バスは渋谷駅などでも同様の失敗をしているので、これらの改善に当たっては、まずは利用者などからなる公開ワークショップを開いて利用者目線での案を打ち出して京王バス・神奈中バスと調整するようなプロセスで行なっていただきたいです。	<p>バス乗り場についてのご意見ありがとうございます。次期多摩市交通マスタープラン（以下、本プランという。）における事業7（公共交通同士や多様な移動手段との連携強化）等の推進によって、公共交通を利用しやすい環境づくりを行ってまいります。いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。</p> <p>公開ワークショップのご提案ありがとうございます。住民および利用者の声を反映する手法として、事業7をはじめとする各種取組を推進する際の参考とさせていただきます。</p>

No.	事項	ご意見	市の考え方
2	ミニバス利用実態の把握方法について(ミニバスへの乗降センサー導入)	<p>日野市ミニバスでは、車両に乗降客数カウントシステムを設置して、シルバーパス利用者を含めた正確な乗降客数を自動で集計できるようになっていると聞きます。</p> <p>運行事業者は同じ京王バスでもあり、多摩市ミニバスにも導入したらどうでしょうか。</p> <p>またシルバーパスの早期 IC カード化を東京都に働きかけ、さらに楽に正確に乗降データを得られるようにすべきと考えます。</p>	<p>乗降客数カウントシステムについてのご意見ありがとうございます。当該システムは、正確な利用実態を把握する上で、有意義なものと認識しております。ただし、多摩市ミニバスへの導入につきましては、乗降調査を行い、利用実態を把握しており、また、財源にも限りがありますので、現時点で新たなシステムの導入は検討しておりません。</p> <p>シルバーパスの IC カード化についてのご意見ありがとうございます。IC カード化によって、データ収集効率およびデータ精度の向上につながるものと認識しております。本プランにおける事業 2（関係機関との協議）において、シルバーパス制度に関して、東京都との協議を進めることとしております。いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。</p>
3	ミニバス南北線のルート一部変更の提案	<p>地蔵堂付近でのルートについては、過去にも和田原通りを通過してサミットストア買い物客も利用しやすくないか検討されたようですが実現しておらず、貴重なバスルートがもったいないと感じます。地蔵堂までのルートはそのまま、戻りは和田原通りを通過してサミットストア近くに片側だけのバス停を設け、そこから「総合体育館入口」を通り元のルートに戻るといった部分的な循環経路にしてはどうでしょうか。これであるとミニバス同士のすれ違いは発生せずバス停も片側だけで OK、利用者的にもデメリットはほとんどないと考えるのですが、いかがでしょうか。</p>	<p>ミニバス南北線の具体的な運行ルートのご提案ありがとうございます。いただいたご意見は、本プランにおける事業 4（ミニバスの再編）を推進する際の参考とさせていただきます。</p>

No.	事項	ご意見	市の考え方
4	検討体制について(スクールバス等の一般乗合化について)	素案の P.26 でも触れていますが、市内には京王自動車さんや南観光交通さんをはじめとする大学や会社専用バスをあちこちで見かけます。解散総選挙で成立時期は見通せませんが、国交省も今通常国会で法改正を実現したいという記事も見かけました。新年度の「多摩市地域公共交通会議」には、南観光交通さんにもオブザーバーなどとして加わっていただくようにしたらどうでしょうか。	<p>多摩市地域公共交通会議の体制についてのご意見ありがとうございます。市内で運行されている各種送迎サービスの活用については、国においても関係法令の見直しを検討されていると承知しており、本市としても今後の国の動向を注視していきます。</p> <p>本プランにおける事業1(交通事業者との協議)や事業2(関係機関との協議)の中で、多様な関係者との協議を行うこととしております。いただいたご意見は、それら事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>
5	小型モビリティについて	昨夏に豊ヶ丘で実証実験の際にも担当の大学研究者にお話を聞いたのですが、現状の最大の課題は、屋根が付けられないことかなと感じます。最近話題のダイハツ「e-SNEAKER」にも屋根はなく、警察の考え方も理解はできるのですが、難しいですね。(感想でした)	小型モビリティについてのご意見ありがとうございます。今後も、小型モビリティの動向等について注視していきます。

No.	事項	ご意見	市の考え方
6	事業7(公共交通同士や多様な移動手段との連携強化)について	<p>実施内容 交通結節点における連続性の確保 乗り場案内板の改善</p> <p>バスの乗り場案内が一部修正されているもののがかなり古いままなので紙で小さくてもいいので最新のものを掲示してほしい</p> <p>紙ならばそんなに手間にならず、すぐにでもできる現状は以下の通り</p> <p>聖蹟桜ヶ丘駅バスターミナル</p> <p>バス総合案内 1 2番乗り場近くにある方</p> <p>2番乗り場 相模原駅行 桜84 廃止</p> <p>2場乗り場 成田空港行 休止中</p> <p>3番乗り場 東電学園行 名称変更 東京電力総合研修センター</p> <p>4番乗り場 河口湖行 廃止</p> <p>7番乗り場 永山駅行 多摩市役所経由 桜64 廃止</p> <p>7番乗り場 多摩センター行 永山駅経由 桜45 新設</p> <p>8番乗り場 鶴牧団地循環 桜63 廃止</p> <p>11番乗り場 多摩東公園行 桜27 廃止</p> <p>聖蹟桜ヶ丘駅バスターミナル 目的地別バス のりば案内</p> <p>多摩市公民館・図書館が多摩市役所バス停で降りることになっている。</p> <p>多摩市公民館と図書館が市役所の場所から無くなったのはかなり昔。</p> <p>他にも修正が必要な個所が多数ある。</p>	<p>バス乗り場案内の現状について、ご意見ありがとうございます。乗り場案内については、関係者等と連携し、確認、更新に取り組んでいきますが、あわせて、デジタル技術を活用した案内等、時代に即した方法を検討してまいります。</p>

No.	事項	ご意見	市の考え方
7	各事業における検討について(移動実態の分析について)	本プランでは、移動実態の総括が1頁のみとなっています。これから、本プランにもとづき、ミニバス計画や自転車計画を含めた、各論としての下位計画を検討実施されるわけですが、その際は、より具体的・詳細に移動実態を分析・整理したうえで、ご検討をお願いします。	<p>詳細検討時におけるデータ分析等についてのご意見ありがとうございます。本プランにおいては、市が目指す方向性・実施する取組を簡潔に市民の皆様にお伝えすることを優先し、掲載する情報を限定することとしております。そのため、データ分析やアンケートの詳細データは、資料編に掲載いたします。</p> <p>今後、各種事業の詳細を検討する際には、それらデータを活用して、地域の実態に即した取組を推進してまいります。</p>

No.	事項	ご意見	市の考え方
8	アンケート結果のグラフについて	<p>☒ 自転車を利用する頻度</p> <p>☒ 自転車を利用する際の外出目的</p> <p>☒ 自転車の利用する際の困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問が、単数回答なのか複数回答なのか、明記してください。 ・回答者数総数(中学生何人、高校生何人)を明記してください。 <p>◇質問と意見 「外出目的」と「困りごと」の集計では、%表示の分母は、回答数総数でしょうか。そうであれば、その値も明記してください。</p> <p>◇意見 「外出目的」と「困りごと」の集計では、回答数総数に対しての割合を示す以前に、中学回答者総数に対して、あるいは高校回答者総数に対しての割合が示されないと、誤解が生じるのではないのでしょうか。</p> <p>中学生と高校生では、外出目的・目的地と頻度が異なり、利用する道・距離や駐輪場の事情も異なるようです。</p> <p>したがって、無理に比較する必要はなく、中高に分けて、回答者総数のバーと%表示のグラフにしたほうが理解しやすいのではないのでしょうか。</p> <p>◇質問 別冊資料編では、各設問の選択肢に対しての、回答者の実数が集計記載されているのでしょうか。</p>	<p>【本プランを修正】</p> <p>各種グラフについてのご意見ありがとうございます。回答形式や回答者数などを追記して、分かりやすく、誤解が生じない表記となるように修正いたします。また、「外出目的」と「困りごと」の集計における分母は、回答者数になりますので、そのことが分かるように修正をさせていただきます。</p> <p>別冊資料編では、設問ごとに回答者数を記載したものを掲載いたします。</p>